

平成27年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成27年3月13日
(一社)日本アルミニウム合金協会

平成26年度の日本経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、緩やかな回復基調が続いたものの、消費税率引上げに伴う個人消費、住宅投資の反動減が長引いたことに加え、円安進行による輸入物価の上昇等もあり、先行き不透明な状況が続いた。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、消費税率引上げ等の影響で国内完成車生産が前年割れとなったことにより、主力の鋳物・ダイカスト向け需要が伸び悩んだものの、コーヒー缶の需要増加により圧延向け需要が予想を超える伸びを示したことから、平成26年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,637,500トン(対前年度比101.1%)が見込まれる。

このような状況の中で、平成27年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、引き続き国内自動車需要・国内完成車生産の冷え込みが予想されるものの、四輪海外生産用部品輸出が引き続き堅調に推移することが期待されるため、横バイが見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、飲料用アルミニウム缶需要が引き続き堅調が予想されるため、微増が見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度並みと予想されるため、横バイが見込まれる。

以上の状況から平成27年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、4年連続のプラス成長となる1,644,200トン(対前年度比100.4%)と策定した。

また、平成27年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、227,000トン(対前年度比99.9%)が予想される。

平成 27 年 度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

平成 27 年 3 月 13 日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項 目	平成 25 年度	平成 26 年度実績		平成 27 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	344,366	343,300	99.7	343,300	100
ダイカスト	970,343	975,700	100.6	979,600	100.4
圧 延	184,521	200,300	108.6	203,100	101.4
鉄鋼・その他	120,000	118,200	98.5	118,200	100
計	1,619,230	1,637,500	101.1	1,644,200	100.4

注 1) 輸入地金を含む。

注 2) 平成 14 年 1 月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

平成 27 年 度

鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成 25 年度	平成 26 年度実績		平成 27 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	158,655	160,200	101.0	160,000	99.9
ダイカスト	69,716	67,100	96.2	67,000	99.9
計	228,371	227,300	99.5	227,000	99.9

注 1) 輸入地金を含む。